

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス モンキーポッドの樹		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 30日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 30日		2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	日々のミーティングや毎月の職員会議を通じ、利用者様の状態変化や支援方針、業務改善等についてタイムリーに共有できる体制を整えている。職種や経験年数を問わず、業務改善に向けた意見交換を活発に行うことで、質向上と職場環境の改善に継続的に取り組んでいる。	引き続き、意見を把握する機会を設けられるようミーティング・職員会議等を恒常化させ、支援の質の維持・向上に努める。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	活動後の会議では、継続すべき点や改善が必要な点を具体的に協議し、次回の支援へ反映させるサイクルを確立している。特に利用者様の年齢層や個々の特性に合わせた柔軟なアレンジを重視し、『楽しみ』や『やりがい』に繋がる活動の提供に努めている。	提供する支援の形骸化を 방지、新鮮な刺激や喜びを感じていただけるよう、新たなレクリエーションや活動プログラムの導入に積極的に取り組んでいく。
3	こどものことを十分理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている	日々の振り返りや職員会議を恒常化させ、お子様一人ひとりの年齢、発達段階、および個々の特性を深く理解・共有する体制を整えている。前回の活動分析に基づき、支援手法の継続や改善を迅速に判断することで、常に最適なアプローチを追求している。	今後も現状に満足することなく、新たな支援技術の習得に向けた研鑽を重ね、専門性のさらなる向上と活動の多様化に努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練等の周知	避難訓練、防犯訓練等は定期的に行っています。保護者に対する実施日程の事前周知や、訓練内容・結果に関する情報共有が不十分であった。	今後は月の活動予定への明記に加え、実施後にはHPや月のおたよりに写真等を用いて「どのような想定で、どのような動きをしたか」を可視化し、周知に繋げる。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない	放課後児童クラブや児童館等の他施設との直接的な交流機会が持てておらず、集団活動の場が自施設内に限定されている。	放課後児童クラブや児童館との組織的な合同活動は未実施であるが、日常的な外遊び(公園利用等)において、地域住民や他の児童と同じ空間で活動する機会は継続的に確保できている。公園で他児と遊具を譲り合ったり、地域の方へ挨拶を行ったりすることを、「地域社会の一員としての実地訓練」と定義し、職員が意識的に仲介・指導を行うことで、自然な形で交流体験を積み重ねていく。
3	各種マニュアルの周知	各種対応マニュアル(防災・防犯・感染症・事故防止等)は整備・運用されているが、その内容を保護者へ十分に周知できていなかった。	年1回の保護者会に加え、定期的な面談の場を活用し、各種マニュアルについて口頭での説明や質疑応答の時間を設ける。またホームページにマニュアルの主要部分を常時掲載し、「いつでも確認できる状態(可視化)」を整えることで、安心感の向上に努める。